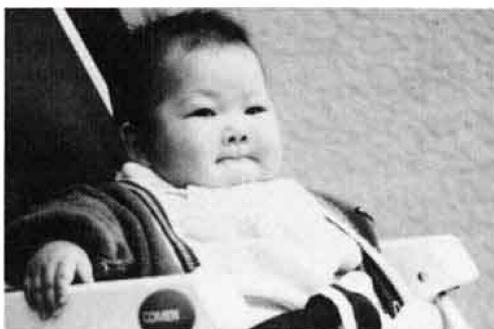




昨年の前名 **マイちゃんが32人で一番**



「私もマイちゃん」平成元年七月十九日生まれの名前原田真衣ちゃん(中里)

今回は前回に引き続き、昨年一年間に富士市で生まれた赤ちゃんにつけられた名前のベスト10・女の子編を紹介します。

順位	名前 (人数)	順位	名前 (人数)
1	マイ (32)	5	ハルナ (20)
2	ユカ (29)	5	ユキ (20)
3	アユミ (26)	8	サキ (17)
4	アヤカ (24)	9	ヒトミ (17)
5	ハルカ (20)	10	アヤ (16)

〇〇子は完全に少数派となってしまったのとは対照的に、二文字の名前が多く見られます。語尾にカとキが多いのも特徴の一つでしょうか。同じ字では、麻衣と彩が13人で一番でした。

「おしば美術」
美しさ、そのまま。



川口ひさ江さん

小学生のころ新聞紙に草花を挟んで、押し花をした経験をお持ちの人も多いはず。本市場新田の川口ひさ江さんは、押し花の技術を高めた「おしば美術」を仲間の皆さん十七人と楽しんでいきます。素材となるのは花や草から果実、枝物まで幅広く、みかんやなす、とうがらしなどは、ちよつと見もの。「しおりや結婚のお祝いとして上げると喜ばれます。自然の息吹にも敏感になりました」と川口さん。詳しくは、☎三三三川口方へ。

中央図書館で

「郷土の先達」を発行



市立中央図書館は、市立図書館双書第一輯として「郷土の先達」という冊子を発行しました。著者は郷土史の第一人者鈴木富男氏。雁堤の古郡三代や道しるべの仁藤春耕など郷土の先達四十二人をピックアップし、コンパクトに紹介しています。古い資料や写真などもたくさん使われ、学生の勉強や郷土史の入門にぴったりです。大きさはB5版で二百一ページ。一冊七百円で市立中央、西、東図書館で販売しています。

健康づくり作文で
最優秀賞



玉川真由美さん

吉原第三中学校三年の玉川真由美さんは、昨年度行われた健康づくり作文コンクール中学生の部で最優秀賞を受賞しました。「父と子で励む健康づくり」という作品は、かつて健康を害したことのあるお父さんが、家族の先頭に立って健康づくりに励んでいることを題材に、健康の大切さを訴えたものです。「ふだんから家族を挙げて体力づくりしているのを書きやすかった」と言う健康優良児。現在、バスケット部のキャプテンとしても張り切っています。



美術のすそ野を広げる

富士デッサン学習会の皆さん

デッサンは美術の基本。しかし、モデルの手配など個人ではなかなかできません。そこで、「富士デッサン学習会」の皆さんは、だれでも参加できるデッサンの場をつくっています。今回は例会におじゃましました。

「絵をかきたい人なら、だれでも気軽に参加できるデッサン会を開きたい」と考えた美術家の皆さんで会を結成したのが二年前。「果たしていつまで続くやら」という周囲の声をしり目に、毎月一回、第三日曜日には吉原市民会館で例会がきちんと続けられてきました。これまで参加した人は百人を超え、毎回平均二十五人ぐら

く、刺激もあって力がつきやすい」と語ります。発足二周年を一つの節目として会では、四月二十六日から五月一日まで東京電力T.E.P.C.O.ホールで作品展を開きます。富士山のすそ野にまかれたデッサンという種は、やがて大きな実をつけるでしょう。会については、☎三三三五城所方へ。

三月の例会はインド人の女性がモデル



運営スタッフは三十代の画家を中心に十人。いずれも市展等の常連者です。代表の城所満さん(国久保・五十八歳)は「市民の中には機会さえあれば絵をかきたいと思ってる人が大勢いるはず。また、絵をかいている人でも、個人でモデルを呼ぶことは大きな負担です。みんなであれば費用が安